

令和8年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
下 水 道 局

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【流域下水道事業会計】

区 分	令和8年度	令和7年度	伸び率
予算総額	99,548,893千円	91,064,203千円	9.3%

1 【収益的支出】

区 分	令和8年度	令和7年度	伸び率
予算総額	60,605,270千円	58,722,896千円	3.2%

2 【資本的支出】

区 分	令和8年度	令和7年度	伸び率
予算総額	38,943,623千円	32,341,307千円	20.4%

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

II 主な新規事業及び重要施策

1 下水道施設の保全と災害対策の強化

P 4	一部新規	八潮市道路陥没事故を踏まえた下水道管路の老朽化対策	【下水道事業課】	4, 200, 100
P 5		下水道施設の老朽化対策の推進	【下水道事業課】	18, 365, 457
P 6		下水道施設の災害対策の推進	【下水道事業課】	6, 775, 734
P 7		下水道管の破損及び道路陥没への対応	【下水道管理課】	683, 000

2 新たな事業環境への対応

P 8	一部新規	地球温暖化対策と資源循環の推進	【下水道事業課】	675, 990
-----	------	-----------------	----------	----------

3 経営基盤の強化

P 9		下水道事業の広域的な連携及びDXの推進	【下水道事業課】	183, 008
-----	--	---------------------	----------	----------

一部新規

担当 下水道事業課 建設担当
内線 5456

目的

国の要請に基づき実施した下水道管路の全国特別重点調査の結果、県として対策すべきと判断した箇所について、改築工事等を実施する。また、常時水位が高く修繕や改築が現在の技術では行えない下水道管路について、リダンダンシーを確保（複線化）する。

事業概要

1 八潮市道路陥没事故を踏まえた下水道管路の老朽化対策 4, 200, 100千円

(1) 全国特別重点調査の結果を踏まえた対策の推進 3, 200, 100千円

管径2m以上かつ供用開始後30年以上が経過した下水道管路のうち、全国特別重点調査の結果、対策が必要と判断した箇所の改築工事等を実施する。

〔令和8年度の主な事業〕

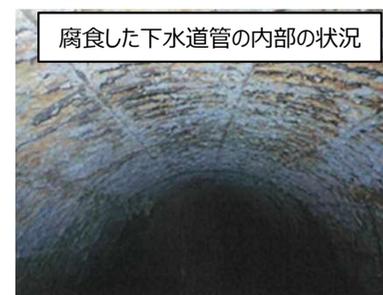
- ・下水道管路の改築：各流域幹線
(荒川左岸南部、荒川左岸北部、荒川右岸、中川)

【参考】令和7年度2月補正予算

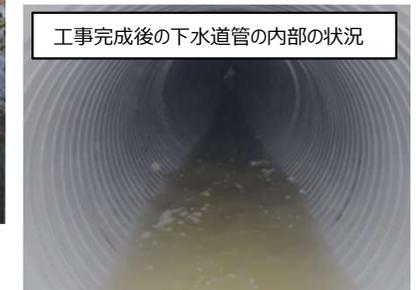
- ・下水道管路の改築 7, 002, 098千円

【管更生工法のイメージ】

腐食した下水道管に樹脂製の新しい内壁を形成し、元の機能を確保する。



腐食した下水道管の内部の状況



工事完成後の下水道管の内部の状況

(2) 下水道管路のリダンダンシーの確保（複線化）（新規）1, 000, 000千円

管径2m以上かつ平常時の管内水位が高い管路は、修繕・改築や災害・事故時の迅速な復旧が現在の技術では行えないため、リダンダンシーを確保（複線化）して、修繕や改築を適切に実施することで同様の事故を未然に防ぐ。

令和8年度は、八潮市内で発生した下水道管の破損の抜本的対策として、複線化工事に着手する。

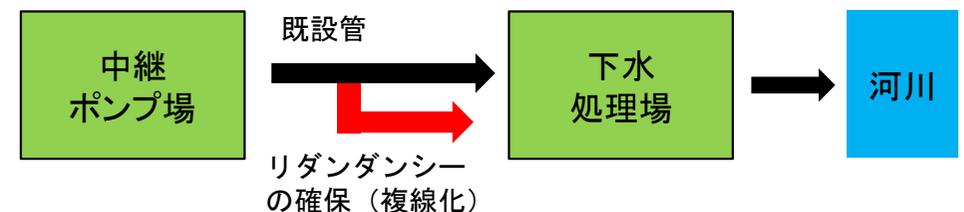
〔令和8年度の主な事業〕

- ・下水道管路の複線化工事：中央幹線（八潮市）

〔債務負担行為設定額〕

17, 000, 000千円（令和9年度～令和11年度）

【リダンダンシーのイメージ】



【参考】令和7年度2月補正予算

- ・詳細設計 170, 000千円

担当 下水道事業課 建設担当
内線 5456

目的

下水道施設供用開始後50年以上が経過し、施設の老朽化対策が課題となっている。重大事故を防止するため、埼玉県下水道局ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の計画的な改築を行う。

事業概要

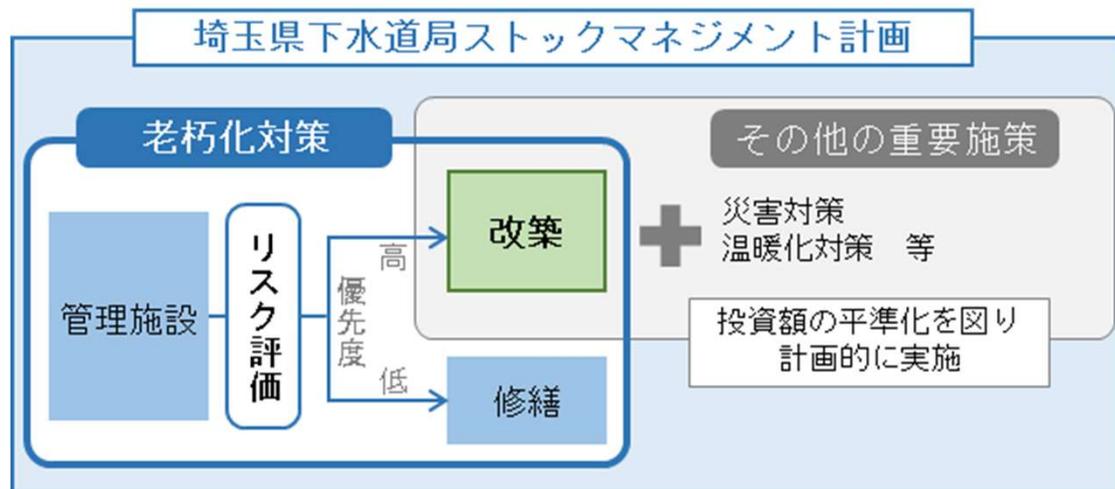
2 下水道施設の老朽化対策の推進 18,365,457千円

(1) 下水道施設の改築 18,365,457千円

施設の適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、下水処理機能への影響度や不具合発生確率によるリスク評価により、優先度の高いものから計画的に改築を行い、安定的・継続的に施設の処理機能を確保する。

〔令和8年度の主な事業〕

- ・ 汚泥脱水機設備の改築 : 中川水循環センター（三郷市）
- ・ 汚泥搬送機械設備の改築 : 古利根川水循環センター（久喜市）



※「埼玉県下水道局ストックマネジメント計画」は国の動向を見ながら今後見直しを行っていく。



中川水循環センター
汚泥脱水機設備



古利根川水循環センター
汚泥搬送機械設備

担当 下水道事業課 建設担当
内線 5 4 5 6

目 的

大規模地震や台風などの影響による災害発生時においても、ライフラインとしての機能を確保し、下水道サービスを提供できるように、各計画（埼玉県流域下水道総合地震対策計画、耐水化計画）に基づき、流域下水道施設の災害対策を推進する。

事業概要

3 下水道施設の災害対策の推進 6, 775, 734千円

(1) 下水道施設の耐震化 6, 136, 734千円

震災時においても下水を街に溢れさせないように汚水を処理場まで「送る」機能と処理場において汚水を「処理」する機能を確保するため、下水道施設の耐震化を推進する。

〔令和8年度の主な事業〕

- ・マンホール浮上防止対策工事 : 中央幹線（八潮市）
- ・管渠耐震工事 : 新河岸川北幹線（吉見町）
- ・処理場の水処理施設等耐震化工事 : 古利根川水循環センター（久喜市）
- ・沈砂池ポンプ棟再構築土木躯体工事 : 荒川水循環センター（戸田市）

【参考】令和7年度2月補正予算

- ・下水道施設の耐震化 2, 236, 756千円

(2) 下水道施設の耐水化 639, 000千円

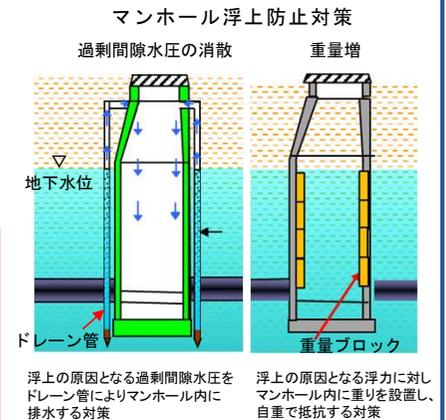
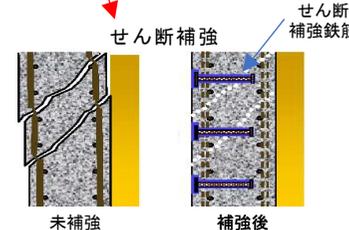
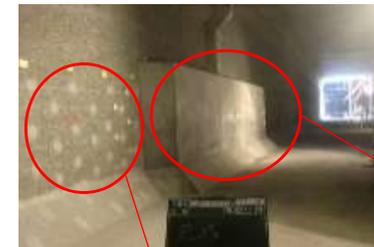
水害時においても一定の下水道機能を確保し、社会的影響を最小限に抑制するため、中高頻度の確率で発生する河川氾濫に対して、防水壁や防水扉等を設置し、下水道施設の耐水化を推進する。

〔令和8年度の主な事業〕

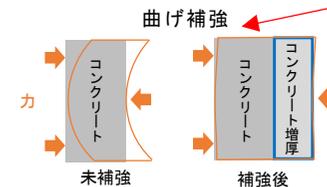
- ・耐水化工事 : 荒川水循環センター（戸田市）
河原井中継ポンプ場（久喜市）

耐震化の例

処理場の水処理施設等耐震化



耐水化の例



担当 下水道管理課 補償担当
内線 5985

目 的

令和7年1月28日に八潮市内で下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没が発生し、その復旧工事が原因で生じた周辺住民・事業者の損失に対する補償を実施する。

事業概要

4 下水道管の破損及び道路陥没への対応 683,000千円

〔事業期間〕 令和6年度～令和9年度

〔総事業費〕 約306億円（令和6年度補正予算から令和8年度当初予算までの工事費及び補償費予算額の合計）

〔事業内容〕 工事に伴う周辺住民・事業者への補償 等

〔令和8年度予算事業〕 復旧工事の影響を受ける周辺住民・事業者への補償等 683,000千円

（1）復旧工事が完了するまでの間に必要となる収用補償、営業補償並びに復旧工事の影響により損傷等が生じる恐れのある周辺住民・事業者の建物等への家屋調査の経費及び復旧工事と因果関係が認められた家屋に対する補償等を計上する。

ア 復旧工事用地として借地している事業者への収用補償等の実施	293,000千円
イ 復旧工事による交通規制に伴い休業又は売上が減少した事業者への営業補償等の実施	144,000千円
ウ 復旧工事により損傷等が生じた建物等への家屋調査及び家屋補償等の実施	246,000千円

〔一般会計からの補助〕 救助に係る経費や補償費等の財源を一般会計から補助

【参考】 令和7年度2月補正予算
・破損した雨水幹線の本復旧工 2,000,000千円

一部新規

担当 下水道事業課 管理運営担当、建設担当
内線 5464、5447

目的

温室効果ガスの排出を抑制した新型焼却炉の導入や省エネ対策に加え、新たに創エネルギー施設の導入検討により地球温暖化対策をより一層推進する。また、下水道資源を有効活用することにより資源循環を推進し、持続可能な社会の構築に貢献する。

事業概要

1 地球温暖化対策と資源循環の推進

675,990千円

(1) 地球温暖化対策の推進 (一部新規) 608,720千円

焼却時の熱エネルギーを最大限活用する創エネ型焼却炉の導入検討や省エネ・創エネを有機的に組み合わせた削減対策の検討を新たに行う。また、消化プロセスの導入や再生可能エネルギーの利用拡大の検討など温室効果ガスの削減対策を推進する。

〔主な実施内容〕

- ・カーボンニュートラルの実現に向けた温室効果ガス削減検討業務委託 **【新規】**
- ・PPAなどによる再生可能エネルギー利用の検討 : 古利根川、荒川上流
- ・新型焼却炉への改築 : 新河岸川、中川、元荒川
- ・消化プロセスの導入 : 古利根川、新河岸川、中川
- ・下水汚泥の処理効率を向上させるシステムの導入 : 中川

(2) 資源循環の推進 67,270千円

本県が全国に先駆けて菌体りん酸肥料に登録した下水汚泥焼灰肥料「荒川クマムシくん1号」について、肥料会社への販売拡大、肥料会社等と連携した焼灰肥料入り混合肥料の県民への周知等により、肥料利用を推進する。また、下水汚泥の堆肥化事業を引き続き検討するとともに、堆肥利用への理解醸成を図る。

下水汚泥を消化することで発生するバイオガスのエネルギー利用を推進する。

〔主な実施内容〕

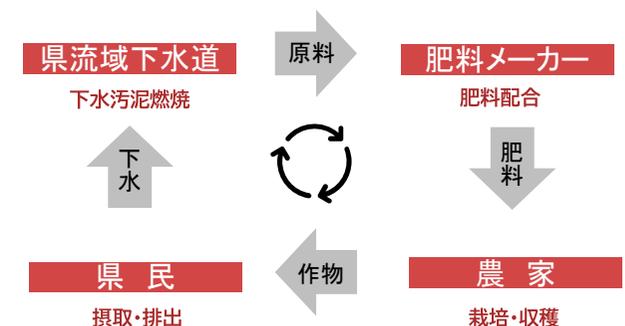
- ・焼灰肥料の生産・品質管理 : 荒川
- ・汚泥堆肥の試作と堆肥事業の詳細検討 : 荒川上流、市野川、小山川
- ・消化プロセスの導入 (再掲) * : 古利根川、新河岸川、中川

* 消化プロセスの導入の予算は (1) 地球温暖化対策の推進に計上。

新型焼却炉の導入



焼灰肥料の利用



担当 下水道事業課 計画・公共下水道担当、管理運営担当、建設担当
 内線 5466、5464、5456

目的

下水道事業の広域化・共同化を進め、市町村の公共下水道事業の安定的・継続的な経営の支援を行うとともに、下水道施設管理に関するDXを推進し、さらなる効率化による流域下水道事業の経営基盤の強化を図る。

事業概要

1 下水道事業の広域的な連携及びDXの推進 183,008千円

(1) 下水汚泥の共同処理 42,400千円

単独公共下水道から発生する脱水汚泥を、流域下水道の水循環センターで処理する。



(2) 共同災害訓練等の実施 20,225千円

局地的な災害だけではなく広域的な災害に対しても下水道機能の早期復旧が図れるよう、県内市町・組合や協定締結団体等との実動訓練やBCP図上訓練をはじめ、下水道公社及び包括的民間委託事業者と共同災害訓練を実施し、災害対応力の向上を図る。また、八潮市道路陥没事故を踏まえた対応や企業局との連携も検討していく。



協定締結団体との共同訓練



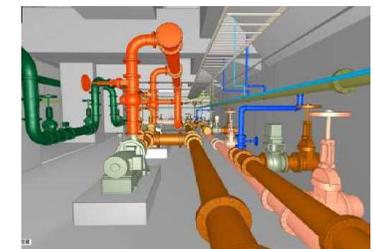
BCP図上訓練

(3) 技術支援等の実施 4,817千円

下水道公社が培った維持管理に係るノウハウを活かし、県内市町・組合の下水道事業に関するニーズに沿ったきめ細やかな技術支援等に取り組む。

(4) 下水道のDX推進 115,566千円

効率化による流域下水道事業の経営基盤の強化を図るため管路情報システム等による情報の共有化及び処理場・ポンプ場施設の3次元モデルの活用(BIM/CIM)を行う。



3次元モデル化(イメージ)